

病理検体を用いた研究についてのお願い

病理解剖にご協力を頂いたご遺族様へ

病理解剖にご協力を頂き感謝申し上げます。当教室ではご遺体の病理解剖による診断に加え、解剖の際に保存された検体の一部を使用し、遺伝子診断を追加することを計画しております。この実施およびその研究により、さらに詳しく病態が把握できるのではと考えており、実施のご許可をお願い申し上げます。この公示後3ヶ月間、ご連絡のない場合はご了承を頂いたと判断し、遺伝子診断を行います。なおこれらの研究、その実施者と方法、合意形成手続きの妥当性については、本学遺伝子倫理審査委員会または本学医学部倫理委員会の承認のもとに行われます。

研究に際してはプライバシーの保護に十分配慮し、責任者の管理のもと、個人情報を匿名化した上で研究を行います。また研究の結果を論文や学会等で発表することがありますが、その際にも個人が特定される情報が公表されることはありません。

ご遺族様におかれましては、研究に検体を使用することについてご了解をいただけない場合は、公示期間中に以下までご連絡下さいますようお願い致します。ただし、ご連絡を頂いた時点で、既に研究結果が論文等で公表されている場合のように、解析結果を破棄することが出来ない場合があることをご了承下さい。

研究機関 新潟大学脳研究所 病理学分野
 新潟県新潟市中央区旭町通 1-757
 (電話) 025-227-0636

受付時間 平日 9時・16時
研究責任者 柿田明美 教授
担当 清水 宏 医局長

研究課題名

- ② 「多系統萎縮症剖検脳における TPPP(p25 α)蛋白の発現解析およびその制御下流遺伝子の探索」(承認番号 680)

対 象 昭和 61 年～平成 11 年に行われた病理解剖で、多系統萎縮症と診断された献体

研究期間 平成 26 年 10 月 22 日 ～ 平成 31 年 10 月 21 日

- ① 「脊髄小脳変性症における疾患責任遺伝子の同定」(承認番号 676)

対 象 昭和 58 年 ～ 平成 26 年に行われた病理解剖で、脊髄小脳変性症と診断された献体

研究期間 平成 26 年 9 月 24 日 ～ 平成 31 年 9 月 23 日